

直播栽培情報 第3号 *鉄コティク 直播

平成30年 6月13日
 砺波農林振興センター
 となみ野農業協同組合

◇直播の生育は、葉齢の展開は近年よりやや早く進んでいますが、葉令を揃えて比較すると、茎数は少なめとなっています。
 ◇今後、急速に茎数が増加することから、茎数が1m当たり90本程度となったほ場では、準じて遅れずに中干しを開始しましょう。

現在の生育状況（6月8日調査）

※管内2調査ほ平均

	播種日	苗立数 (本/m ²)	草丈(cm)	茎数		葉令	葉色
				(本/m)	(本/m ²)		
H30管内平均	5/2	70	22.2	50	166	6.0	4.2
H29管内平均	4/27	77	21.1	66	219	5.7	4.2
近年値 (H23~29年平均)	5/2	69	21.8	49	160	5.3	4.0

1. 中干し

- 中干しに入る前に、5mに1本を目安に溝掘りを行い、ほ場への入排水の効率を高める。
- 茎数が、**90本/m程度を確保**したら、**中干し**を開始し、稲および根の健全化を図る。また、田面が柔らかい場合は早めに中干しを開始し、ほ場中央部でくるぶしが軽く沈む程度になるまで行う。（※いもち病予防粒剤散布前までに中干しを終える。）
- 根の露出が多くみられるほ場では、根を土中へしっかりと入れるために、強めの中干しを行う。

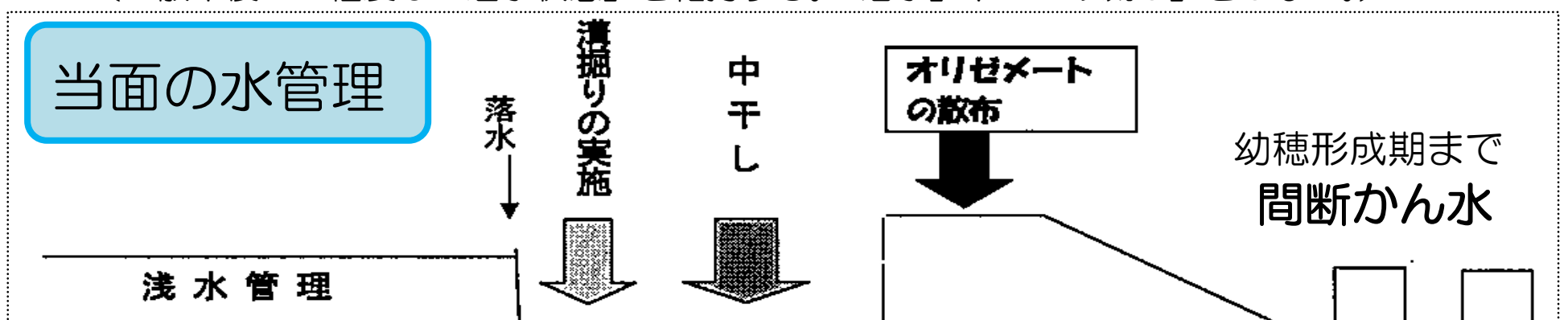


2. いもち病防除

○直播は、いもち病の予防粒剤を必ず散布する。

6月20日頃までに オリゼメート1kg粒剤 1kg/10a

（※散布後5日程度は「湛水状態」を維持する。「落水」や「かけ流し」をしない。）



3. 中間追肥

○不足している加里や珪酸質資材を積極的に施用し、病害虫に対する抵抗力や耐倒伏性を高める。

6月中旬 けい酸加里プレミアム34 20kg/10a

※粒が溶ける程度の水量（ごく浅水からヒタヒタ水状態）で散布する。

4. 雑草防除

○残草が見られる場合は、発生状況に応じて除草剤を散布する。

○薬剤は、直播に登録のあるものを用い、使用時期や使用量、使用回数を確認のうえ、使用基準を厳守する。

除草剤名・適用雑草	使用量(10a 当り)	使用時期	水管理
ザーベックスDX1 扣粒剤 水田1年生雑草 マツバイ、杓刈、ミズヤツリ、 ウリカ、ヒルムシ	1kg	イネ5葉期～、ノビエ3葉期まで ただし収穫60日前まで 砂壤土～埴土 ※低温(15℃以下)や高温(30℃以上) が予想される場合の使用は避ける。	湛水状態で散布し、 5日間は湛水状態 を保つ。 (7日間止水)
クリンチャー1 扣粒剤 ルイ	1.5kg	播種後25日～、ノビエ5葉期 ただし収穫30日前まで 砂壤土～埴土	
クリンチャーEW 水田1年生イネ科雑草	100ml (希釈水量25～100ℓ)	播種後10日～、ノビエ5葉期 ただし収穫30日前まで 砂壤土～埴土	雑草茎葉部に薬剤が 付着するよう散布す る(落水～浅水状態 で散布)。 展着剤を加用する。
クリンチャーバスME液剤 水田1年生雑草 マツバイ、杓刈	1,000ml (希釈水量70～100ℓ)	播種後10日～、ノビエ5葉期 ただし収穫50日前まで 砂壤土～埴土	晴天時に、落水状態 で散布し、3～4日 間は入水、落水とも しない。

5. カメムシ対策

○出穂直前や出穂後に草刈りを行うとカメムシ類を水田内に追い込むことになるので、7月10日頃までに畦畔等の草刈りを終える。

・また、出穂期近くに畦畔除草剤を散布すると、着色米が発生しやすくなるので、畦畔除草剤の使用は、7月上旬頃までに終える。

「水田畦畔等の草刈り運動」 運動期間 7月1日～10日
一斉草刈り日 7月7日～8日

【お問い合わせは】 砺波農林振興センター 32-8113					
となみ野農業協同組合経済部 32-8619 又は、最寄りの支店へお問い合わせ下さい。					
支店名	TEL	支店名	TEL	支店名	TEL
中央支店	32-3107	北部支店	32-2754	庄西支店	33-4130
庄東支店	37-0047	福野支店	22-3018	井波中央支店	82-1552

栽培記録簿に作業ごとの栽培状況を忘れず記帳しましょう。